

20年後、30年後を生きる子どもたち

正解のない世の中を生き抜く力
協働して作り出す力 ⇔ AI
持続可能な社会を生み出す力

地域・保護者の願い

ふるさとに根っこをもつ子ども
基礎学力の定着・活力ある姿
人間力・生活力を大切にする学校

本校のめざす
学校像

わくわく

にこにこ

きらきら

教育目標

いきいき学ぶ みんな輝く 未来へ進む 東栄小

校訓「ちえ輝く子、やさしさ輝く子、げんき輝く子」の育成に向けた教育を行う。

令和4年度めざす子どもの姿

ともに成し遂げた経験をもち、考え、伝え合い、行動する子ども

学級における具体的な子どもの姿

基礎学力の定着

子どもも教師も
よく遊ぶ

最高学年の
自覚を高める

将来に役立つ
情報機器活用力の育成

級訓

花言葉 ・花言葉にはたくさんのいい意味があるから。

指導・支援の内容

○毎時間の授業の中で

・授業の中で学んだ内容の定着を図るために、プリントやタブレット端末のアプリなどを使い、授業の始めの5分間で小テストのように帯学習を行う。

○家庭学習の中で

・授業時間内で学習した内容を深めたり、学習習慣を身につけたりするために、基本の課題（漢字・計算学習、音読、日記）+自主学習を設定する。

○休み時間で

・休み時間に学級全体で遊ぶ時間を設けたり、教師も積極的に遊びの輪に混ざったりする。その時間を確保するために、下記の2つのシステムを作る。

- ①漢字ノートと日記を2冊ずつ使用することで、休み時間に見る量を減らす。
- ②帰りの会を短縮すること（必要なことは朝の会で連絡したり、タブレット端末に入力したりしておく）で、授業後、休み時間を確保する。

○学校行事や

日々の活動の中で

- ・一人一人がリーダーシップを発揮できるようにするために、学校行事や日々の活動を進める際に「〇〇実行委員会」を設定し、担当した子が中心となって企画・運営ができるようにする。
- ・全体が集まる場では、素早く静かに整列ができるようにするために、開始前にゆとりをもたせることで、6年生が見本を示したり、低学年のサポートをしたりできるようにする。

○授業の中で

- ・国語科では、文集（したらの子、とうえいっ子）作成時にパソコンのWordソフトを使用する。
- ・社会科では、各単元のみまとめ作成時にパソコンのWordソフトを使用する。
- ・各教科や総合的な学習の発表時に、タブレット端末のプレゼンテーションアプリ（keynote,PowerPoint）を使用する。
- ・情報機器のメリット・デメリットを使う度に話をしたり、考えたりできるようにする。